

令和2年度産業技術連携推進会議
近畿地域部会デザイン分科会
議事録

1 日 時 令和2年12月16日(水) 15:00~16:45

2 開催方法 Zoomによるオンライン開催



3 挨拶 近畿地域部会デザイン分科会 会長
福井県工業技術センター 所長 山本 雅己
(代理 同・企画支援室長 後藤 基浩)

4 議 事

① 各機関の事業、活動報告

・取組事例、研究課題などについて各機関より報告

1. 産業技術総合研究所関西センター

「NEXT 関西イノベーション・マッチング」や「AIST 関西懇話会講演会」など関西センターが本年度に実施したイベントの紹介。本年度の多くのイベントはオンライン開催になった。(状況に応じてリアル開催)

2. 大阪府産業デザインセンター

「ホームページ無料診断(デザイン総合相談事業)」「デザイナーの使い方(大阪府デザイン・オープン・カレッジ事業)」の紹介。ユーチューブを併用したイベント開催において、事前にオンラインで得られる情報とイベント時のみの情報がある場合、予習を前提としない構成とした方が受講者の理解も進み、評価は上がるという情報提供があった。

3. 京都府中小企業技術センター

9月にIFデザインアワードの国内説明会をオンライン開催したところ、多くの参加者があった。また、現在、取組中のデザインワークショップについても出展社数は昨年同等であった。オンラインイベントのトラブル回避法として、開催日の少なくとも2日前までに受講者が自分の通信環境を確認できるチェックサイトを準備する必要がある事等の情報提供があった。

4. 滋賀県工業技術総合センター

研究開発については、熱溶融式（Fortus450mc FDM）とインクジェット式（Connex500）3Dプリンタによる造形物の寸法精度と強度を測定した。データよりやや大きめに造形されることや旧型機であるTitanのABS造形物より50%程度強度が向上していることを把握した。

5. 京都市産業技術研究所

京都の美術館・博物館が収蔵する「文化的工芸品」のデジタルアーカイブ化を進め、それらを活用した商品開発支援を行っている。また、京都市内伝統産業を対象に、デジタル2D技術の普及に取り組んだ（Inkscape活用講習会）。その他、VR技術の最新動向の解説や同所が開発したプログラムの紹介を製織業界事業者に対し実施した。

6. 福井県工業技術センター

工業技術センターでは、UVプリンタによる蒔絵技術の開発を令和元年度から実施しており、今年度は2次元の図案データからレリーフ形状を作成するアルゴリズムの開発を行っている。（公財）ふくい産業支援センターデザイン振興部では、新たにスタートしたデザインコネクト事業（様々な業界とデザインがつながることによって、新たな付加価値が生まれることを啓蒙する事業）等が紹介された。

② 意見交換

・上記の活動報告に関連して、業界の反応や運営方法など意見交換があった。

③ 近畿地域部会デザイン分科会について

・令和2年度活動報告

別紙1により活動報告の承認。

・令和3年度事務局の選任

近畿地域部会デザイン分科会運営要領に基づいて、大阪府の選任。

・令和3年度活動方針（案）について

別紙2により活動方針の承認。

以上